

# 山紫水明の里

## 中津市耶馬溪町

中津市耶馬溪地域は、その大部分が、「史蹟名勝天然記念物保存法」により、大正12年3月に『名勝耶馬溪』として指定を受けています。

また、昭和25年7月には、『耶馬日田英彦山国定公園』にも指定されており、「一目八景」など垂直に切り立つ石柱群、清流の流れる一枚岩状の溪谷など、光と風と水が創造した景観が、まるで自然の名画のようです。

春は“若葉もみじ”、秋は“錦もみじ”と称されるほど、春夏秋冬さまざまな表情で訪れる人々を癒してくれます。

### 耶馬溪観光の見どころ



#### A 深耶馬溪 一目八景

“若葉もみじ”の新緑から“錦もみじ”の紅葉まで、一年中鮮やかな景観を見せてくれます。群猿山、鳶ノ巣山(写真)、嘯猿山、夫婦岩、雄鹿長尾の峰、烏帽子岩、仙人岩、海望嶺などの周囲の岩峰群が、一望できることから名づけられた耶馬溪の代表的な景勝地です。



#### C 耶馬溪ダム記念公園 溪石園

昭和62年、耶馬溪ダムの完成記念に造られた広さ2万平方メートルの日本庭園です。

数万個の石、ダムの水を利用して耶馬溪の溪流を再現し、100種3万1000本以上の樹木や池、岩、滝などが、四季折々に見事な調和を見せる公園です。



#### D 小柿山光円寺のしだれ桜

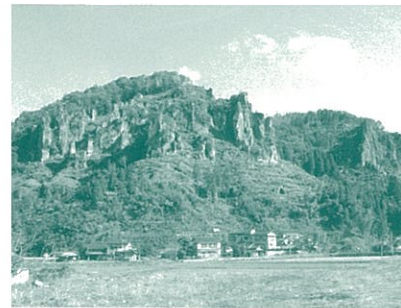
樹齢350年以上といわれ、10m四方に渡り、多くの枝が垂れ下がっています。開花時は見事な花を咲かせ、樹種も珍しいです。開花時期は、3月下旬から4月上旬にかけてです。

#### B はなぐり茶園

山移地区の標高438mの台地に広がる茶園で、大きな寒暖差、低排ガスなどの最適な環境で育つお茶は「耶馬溪茶」の名で親しまれています。毎年5月上旬には、茶摘み体験のできる「耶馬溪茶摘みフェスタinはなぐり」も開催されています。



#### E 裏耶馬溪 伊福の景



「伊福の景」の名で知られています。戦国時代の名将「後藤又兵衛」伝説やお墓などもあり、古くから多くの人に愛されてきました。

温泉を利用したスッポン養殖も盛んで、同地の民宿はもとより、耶馬溪のお店で食べることができます。

#### G 耶馬溪温泉郷

耶馬溪地域には、景勝地「深耶馬溪」を中心に良質な温泉が湧出しています。

深耶馬溪温泉郷、裏耶馬溪温泉郷の名で親しまれ、十数店舗が営業しています。無色透明の単純泉で、お肌すべすべになること間違いなしです。



#### H 擲筆峰



耶馬溪の名付け親で、江戸時代の儒学者「頼山陽」が川辺に立ち、「あまりの美しさに描くことができないほどの景色だ」と、湖に筆を投(擲)げたという話から、名前がついた景勝地です。

#### J 大谷溪谷

天然の一枚岩が10km続く溪谷です。

ジャブジャブと歩くことができ、夏は絶好の避暑地となっています。近くには、温泉付きキャンプ場もあります。



#### K 長岩城址 (県指定史跡)

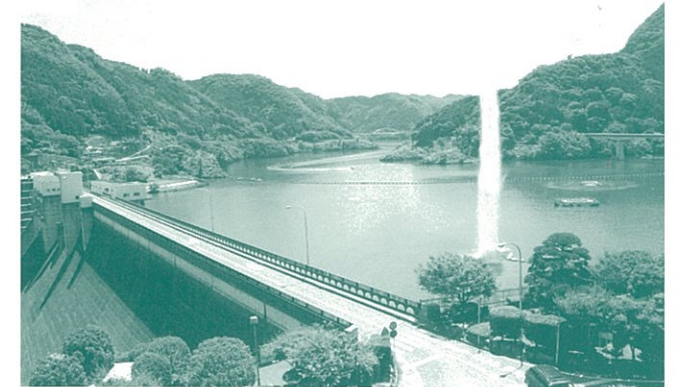


長岩城は、地方豪族の中世山城としては大規模であり、石畳や砲座などの優れた石積みの構造物が数多く存在します。

特に銃眼のあったとされる石積櫓は、石造の櫓としても、のぞき穴の設置としても、わが国最古のもので、全国に類例を見ない貴重な遺構です。

#### F 耶馬溪ダム

新緑から紅葉へと周囲の山々が装いを変えるたびに、その表情を変える耶馬溪ダム。湖面を利用した水上スキーやウェイクボードなどのウォータースポーツも盛んに行われ、多くの人々が訪れます。(昭和60年完成)



#### I 耶馬溪アクアパーク

全国で唯一の公営水上スキー場です。耶馬溪ダム湖を利用し、波も少なく良好なコンディションの中、全国大会や国際大会も開催されます。一年を通じて、インストラクターによる指導が受けられ、未経験者でも水上スキー、ウェイクボードに挑戦できます。



#### 耶馬溪イベントカレンダー

	期日	イベント名
春	4月第2日曜日	松原マツ
	4月29日(祝)	耶馬溪新緑まつり
	4月29日(祝)	深耶馬溪ゴールデンウォーク
夏	5月上旬	耶馬溪茶摘みフェスタinはなぐり
	6月第1土曜日	耶馬溪ホテル観賞コンサート
	6月26日	耶馬溪温泉郷 露天風呂の日
秋	7月最終土曜日	耶馬溪湖畔祭り(花火大会)
	7月29日	かつば祭り(宮園楽)
	9月21日	かつば祭り(榎山路楽)
冬	9月22日	かつば祭り(二瀬楽)
	10月下旬	耶馬溪観光秋まつり
	11月中旬	深耶馬ウォーク
	12月第1土曜日	やんざ祭り
	2月1日~3月31日	スパ・そば・すっぽん大作戦